

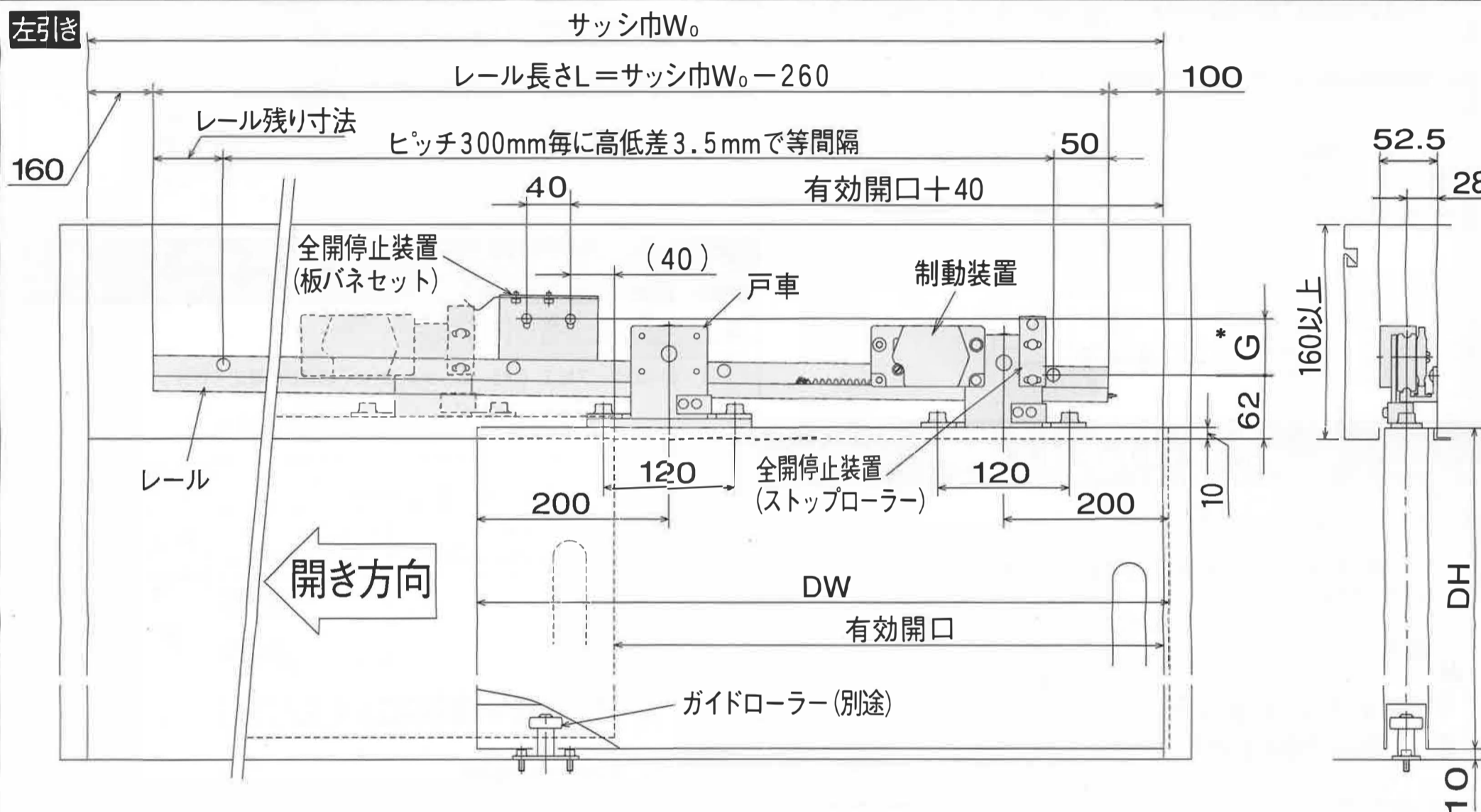
RYOBI 引戸クロー

取扱上の注意

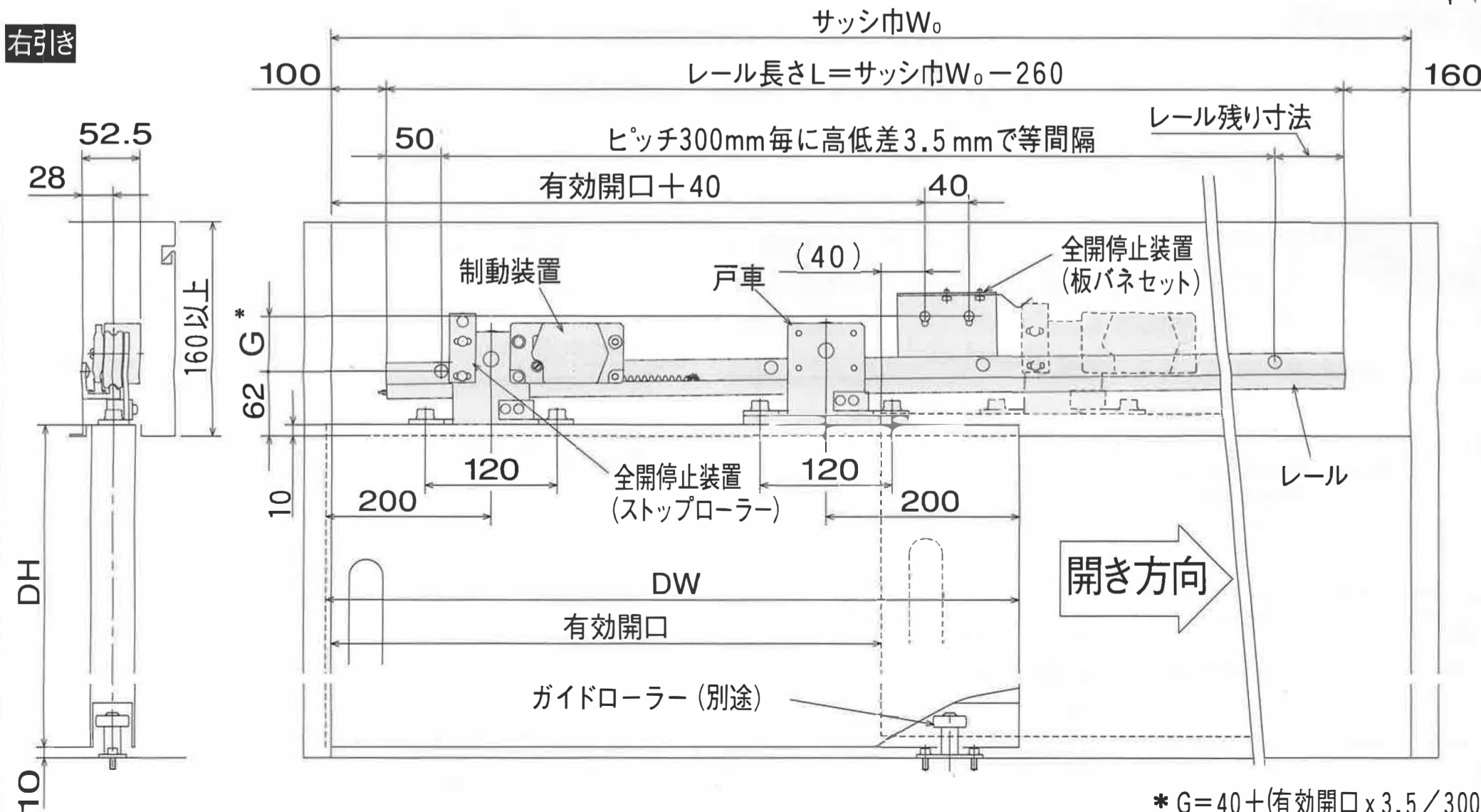
- 仕様外の扉寸法、及び扉重量へのご使用は避けてください。万一使用される場合は、弊社にご相談ください。
- 本体から油が漏れると扉が勢いよく閉まり、「ドアに指」をはさまれ、骨折などの危険があります。また、扉、床を汚す恐れがあります。万一、油が漏れていたり、部品が破損した場合は速やかに本体を交換してください。
- 扉の閉じ動作はクローザが行いますので、閉扉方向へ強い力をかけないでください。扉が勢いよく閉まり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 扉が脱輪し転倒する危険がありますので、戸車の外れ止め金具は必ず設置してください。
- 戸尻側へ戸当りを必ず設置してください。
- 引戸クローザの改造・分解をしないでください。万一された場合、以後の保証は致しかねます。
- 湿気の多いところや、薬品等の雰囲気中でのご使用は避けてください。
- 引戸クローザの部品を落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因になります。

納り図

左引き



右引き



* G = 40 + (有効開口 × 3.5 / 300)

ザ取付説明書

傾斜タイプ ストップなし
SWSL-1

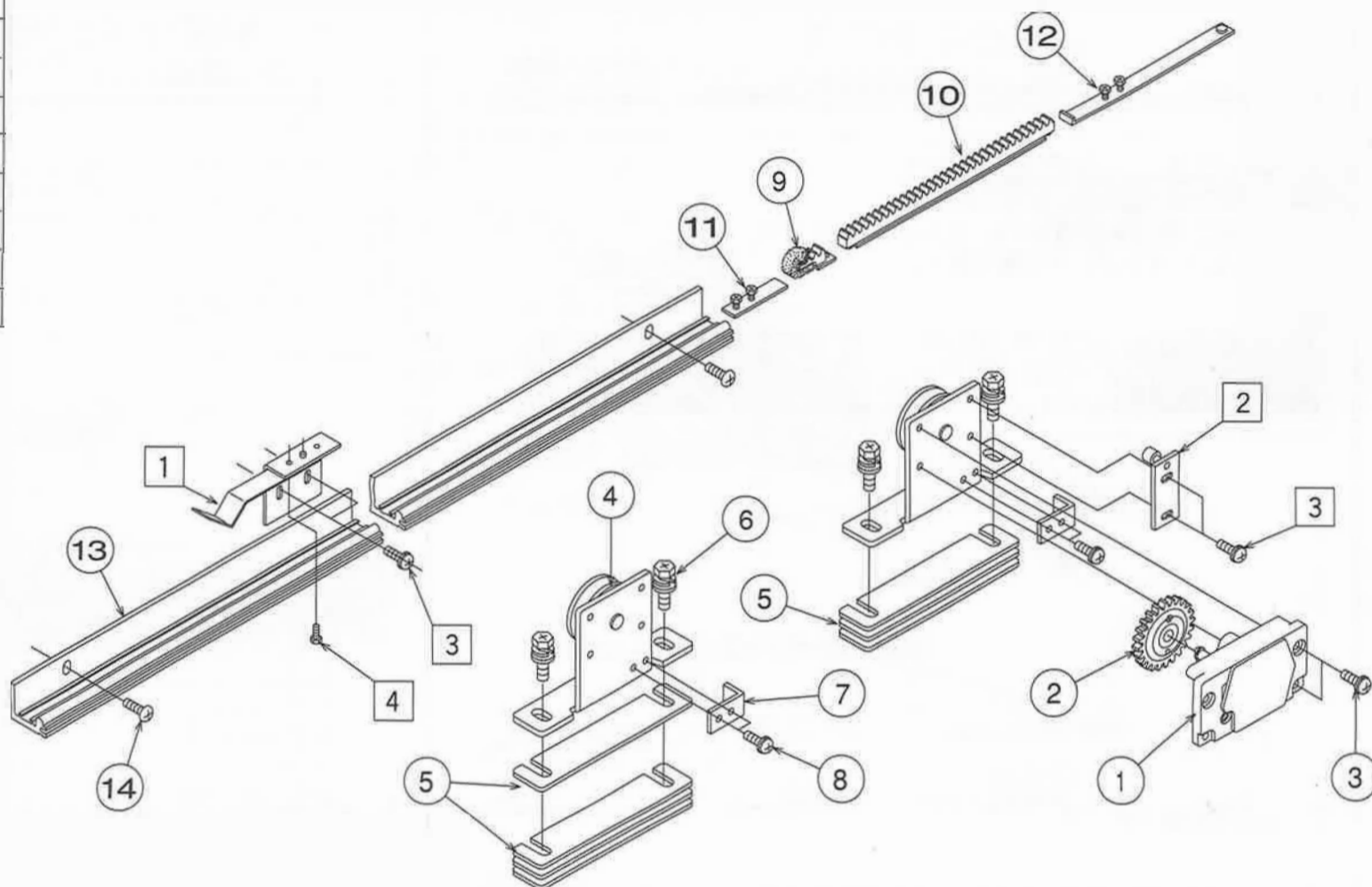
オプション 全開停止装置
SWST-01

部品明細

*部品は右引き、左引き兼用です。
下の斜視図は左引きを示します。

標準品		
No.	部品名称	員数
①	制動装置本体	1
②	制動歯車	1
③	⊕ナベ小ネジM5 x 0.8 L=12	2
④	戸車	2
⑤	戸車用スペーサー (t=1)	20
⑥	⊕六角ボルトM8 x 1.25 L=35	4
⑦	外れ止め金具	2
⑧	⊕ナベ小ネジM5 x 0.8 L=12	4
⑨	ラックA	1
⑩	ラックB	1
⑪	スライドプレート	1
⑫	L型スライドプレート	1
⑬	レール 標準長さL=2500	1
⑭	⊕トラス小ネジM5 x 0.8 L=14	9

SWST-01 オプション		
No.	部品名称	員数
①	板バネセット	1
②	ストップローラー	1
③	⊕ナベ小ネジM5 x 0.8 L=12	4
④	⊕六角ボルトM4 x 0.7 L=6	1



保守・点検

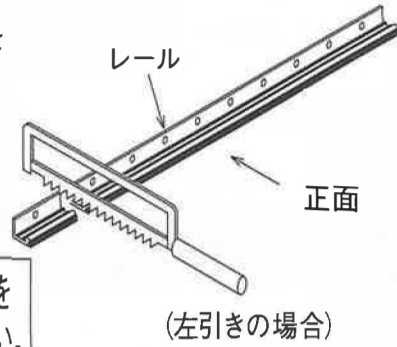
不具合事象	原因	対処方法
扉が動かない	1 戸車が脱輪している。	扉を正しく吊り直し、外れ止め金具を確実に取り付けください。
	2 戸車が中心線上に並んでいない。	戸車が一直線上になるよう取り付け直してください。
	3 扉が枠、壁、床に接触している。 ガイドローラーと扉が接触している。	 接触部分、取付寸法を確認し、取り付け直してください。
扉が閉じきらない 途中で止まる	4 レールの傾斜角度が異なる。	正しい傾斜角度で取り付けください。(3.5/300mmの勾配)
	5 レール、戸車表面にゴミ、汚れ または、キズがついている。	レール、戸車の清掃。キズの程度によっては部材交換してください。
	6 ブレーキ力が強すぎる。	最適のブレーキ力に調整してください。(裏面11項参照)
閉じ際 の速度調整 が効かない	7 制動歯車の向きが逆。	制動歯車を取り外し、適正な方向に付け直してください。(裏面9項参照)
	8 速度調整弁を緩めすぎている。	最適のブレーキ力に調整してください。(裏面11項参照)
扉がガタつく	9 レール、戸車表面にゴミ、汚れ または、キズがついている。	レール、戸車の清掃。キズの程度によっては部材交換してください。
	10 各種取付ビスの緩み。	各種ビスの増し締め、締め直しをしてください。

・取り付け後、この説明書は保管しておいてください。

レール取り付け

1 レール切断

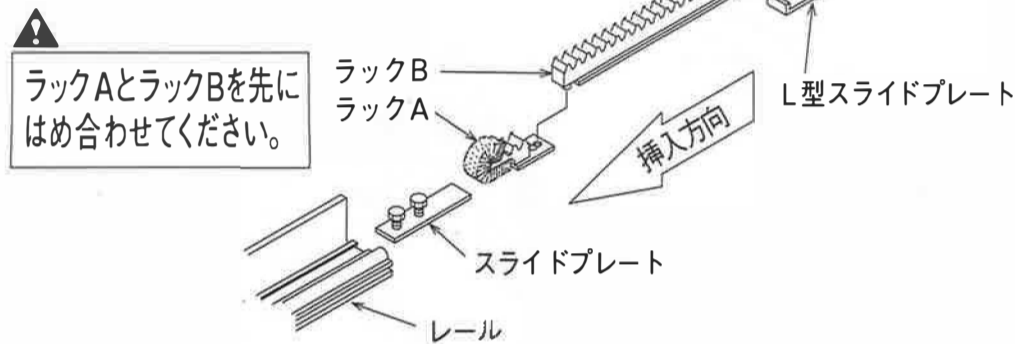
- (1) サッシ内寸法から260mm引いた寸法でレールをカットしてください。
- (2) カットの方向に注意してください。
 - ・右引きはレール正面から見て、右側をカット。
 - ・左引きはレール正面から見て、左側をカット。



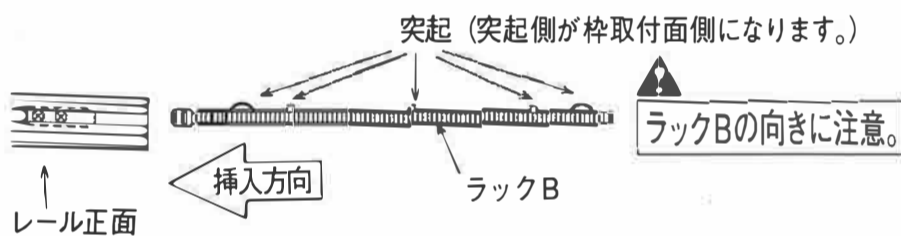
レール加工時に、滑走面に傷をつけないよう注意してください。

2 ラックユニットの取り付け

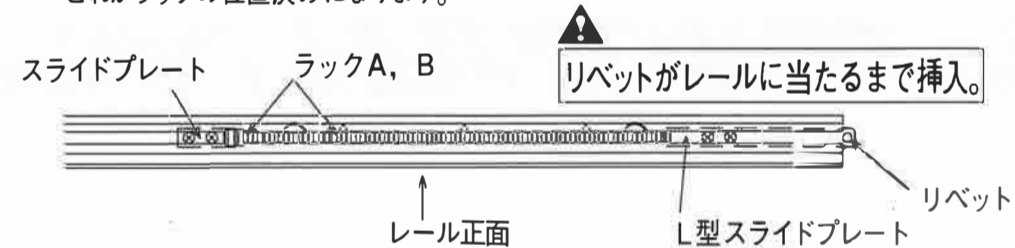
- (1) レールに 1. スライドプレート、2. ラックA+ラックB、3. L型スライドプレートの順で挿入。



ラックAとラックBを先にはめ合わせてください。

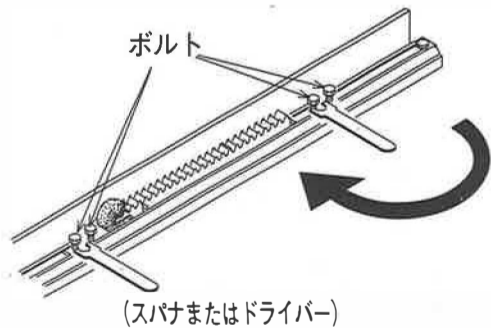


- (2) L型スライドプレートのリベットがレールに当たる位置までラックユニットを入れてください。これがラックの位置決めになります。



リベットがレールに当たるまで挿入。

挿入後、スライドプレート、L型スライドプレートのボルト4本をしっかり締めつけてください。



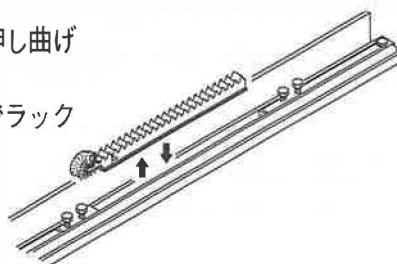
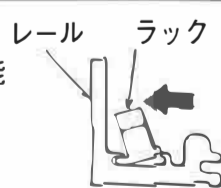
異音、制動不良の原因になりますので、ボルトはしっかり締めつけてください。ラックはスライドプレート及びL型スライドプレートに押しつけて固定してください。ガタがあると異音の原因になります。

ポイント

●ラックの脱着方法

・ラックA、Bはレールを枠に取り付け後でも上方向に脱着可能です。制動距離変更、メンテナンス時にご利用ください。(スライドプレート、L型スライドプレートは上方向には抜けません)

- (1) ラックBの両端を押しつけて、円弧状の突起を押し曲げると脱着できます。
- (2) はめ込む時、きつい場合はマイナスドライバーでラックBをレールに押し込んでください。



3 レール取付穴の設定

- (1) レール基準穴の設定は、
 - ・戸先側のサッシ内側からの寸法=150mm
 - ・上枠下面からの寸法=62mm (扉と上枠とのかぶり10mmの場合)にタップ加工 (M5 ピッチ0.8) してください。
- (2) その他のレール取付穴位置は、
 - ・下図及び表1のタップ加工早見表を参照してください。
 - ・タップ加工は同様に (M5 ピッチ0.8) してください。

レール残り寸法155mm以上ある場合は、最終位置から150mm、高低差1.8mmの位置にもタップ加工してください。

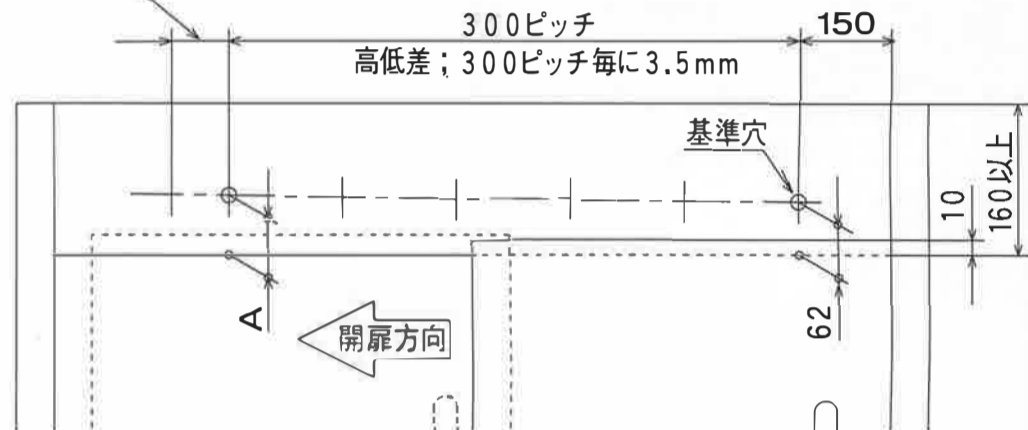


表1 レールタップ加工早見表

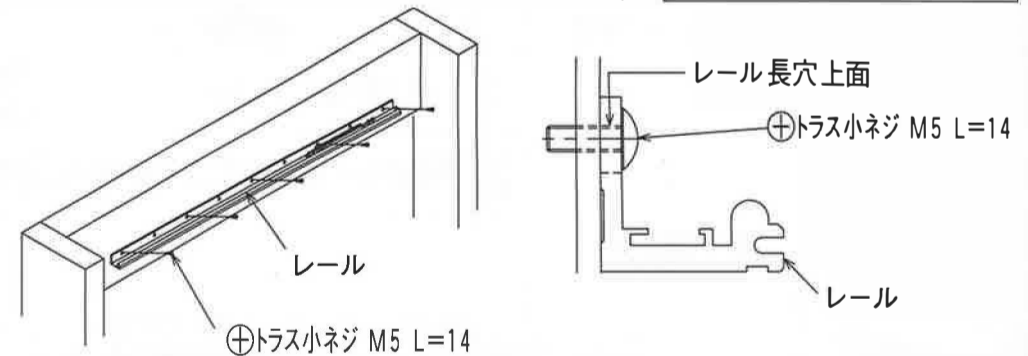
	基準穴からの寸法(mm)	高さA (mm)
1つ目(基準穴)	0	62.0
2	300	65.5
3	600	69.0
4	900	72.5
5	1200	76.0
6	1500	79.5
7	1800	83.0
8	2100	86.5
9	2400	90.0

ストップ装置の穴あけは12項参照してください。

4 レールの取り付け

- (1) レールを付属のビス(⊕トラス小ネジ M5x0.8 L=14)で取り付けてください。
- (2) レールの長穴の上部に合わせてビスを固定してください。

指定以外のビスを使用しないでください。制動歯車に当たります。



戸車取り付け

5 戸車及び戸車スペーサーの取り付け

- (1) 下図のように戸車、戸車用スペーサー t=1 (枚数は表2参照)を取り付けてください。

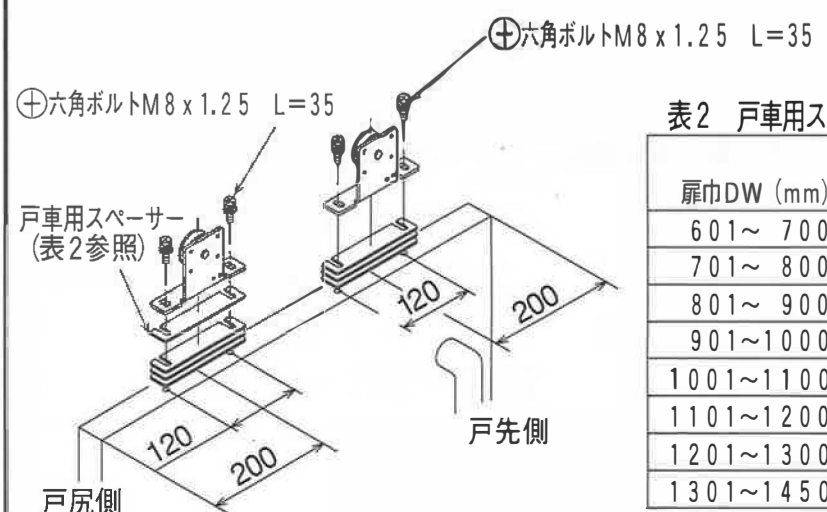
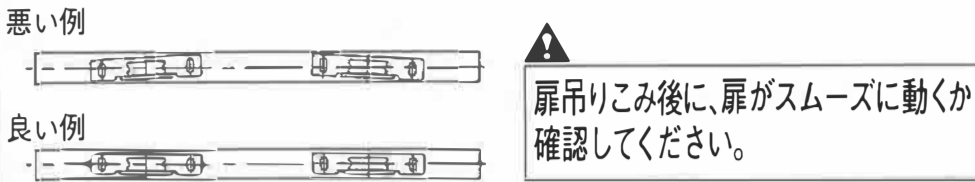


表2 戸車用スペーサー枚数一覧表

扉巾DW (mm)	戸車用スペーサー	
	戸先側	戸尻側
601~700	3枚	7枚
701~800	3枚	8枚
801~900	3枚	9枚
901~1000	3枚	10枚
1001~1100	3枚	11枚
1101~1200	3枚	12枚
1201~1300	3枚	13枚
1301~1450	3枚	15枚

手順 (本図は左引きを示します。右引きは本図と対称に取り付けてください。)

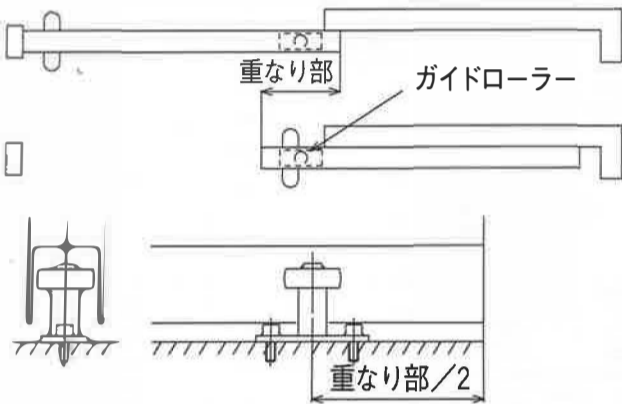
(2) 戸車は扉に平行に取り付けてください。



ガイドローラーの取り付け (別途)

6 ガイドローラーの取り付け

- (1) 戸の重なり部中央に取り付けてください。ガイドローラーは必ず使用してください。
- (2) 扉が垂直になるように取り付けてください。
- (3) 傾斜仕様に対応したガイドローラーを使用してください。

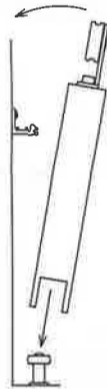


扉の吊り込み

7 扉の吊り込み

- (1) 扉の下部をガイドローラーに合わせて、戸車をレールに吊り込んでください。
- (2) 扉の傾きは戸車スペーサーの使用枚数を変えることにより、調整することができます。

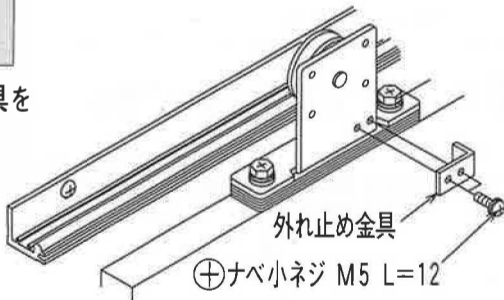
扉吊込後、扉と床面とが当たる時は、戸車用スペーサーを抜いてください。扉を下げる時は、戸車用スペーサーを戸車の下に入れてください。



8 外れ止め金具の取り付け

- (1) 戸車 (戸先側、戸尻側) に外れ止め金具を取り付けてください。

扉の脱落防止のため必ず取り付けてください。

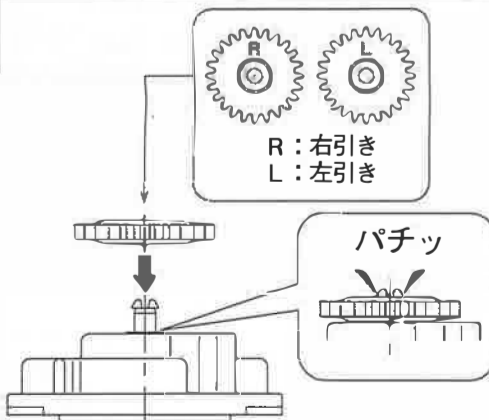


制動装置の取り付け

9 制動歯車組み込み

・出荷時、制動装置と歯車は組み立てられておりません。歯車の取付けは次のように行います。

- (1) 歯車には“R”“L”のスタンプがなされています。取付けは勝手方向のスタンプ記号が表側になるよう、制動装置の軸へパチッと音がするまで押し込みます。左引きの場合、組み込み後、“L”のスタンプが見えます。
- (2) 組込後、歯車が片方へは軽く回り、他方へは軸と共に回ることを確認してください。



ポイント

● 歯車の取り外し方法

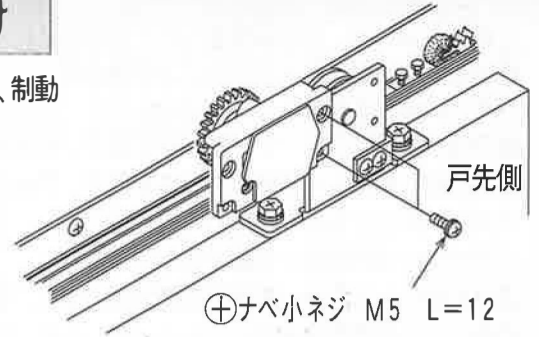
樹脂リベットの頭をつまんで歯車を上へ抜けば外れます。歯車の表裏をひっくり返して、再度取り付けてください。

勝手を逆に取り付けると制御が効きませんのでご注意ください。取り付けを間違った場合は右図参照してください。

10 制動装置の取り付け

- (1) 歯車とラックが正しくかみ合うよう、制動装置を取り付けてください。

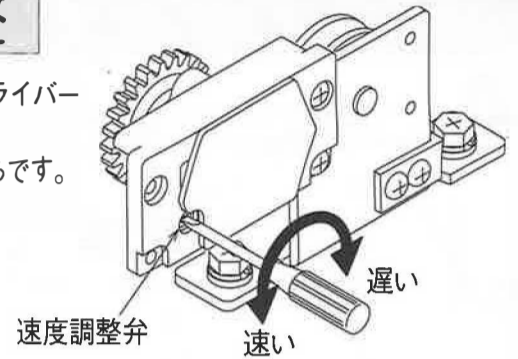
扉を開けた状態 (400mm程度) で取り付けてください。



11 閉じ速度の調整

- (1) 制動装置の速度調整弁をマイナスドライバーで調整してください。(右図参照)
- (2) 速度調整区間は閉じ際約250mmからです。

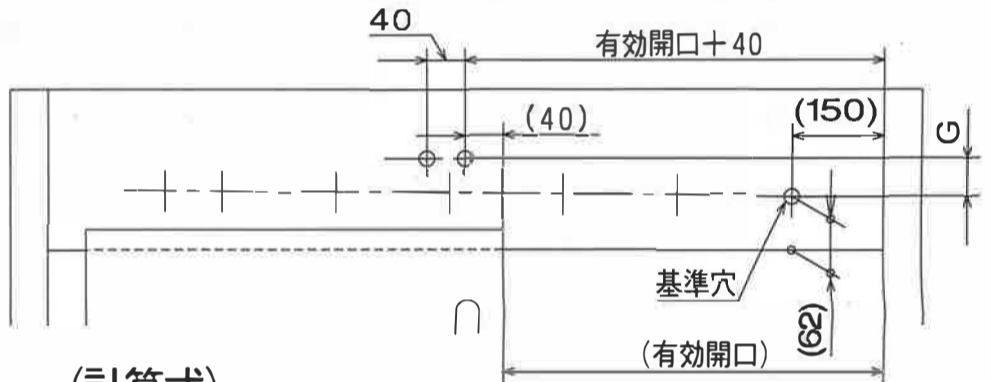
気温で多少速度が変化します。気温が高いと速く、低いと遅くなります。なお、常温に戻れば速度は戻ります。



全開停止装置の取り付け (全開停止装置はオプションです。12~14項は、全開停止装置 (SWST-01) の説明です。)

12 全開停止装置取付穴の設定

- (1) 枠へのタップ加工 (M5 ピッチ0.8) は下図及び計算式を参照してください。



(計算式)
取付ピッチG = 40 + (有効開口 × 3.5 / 300)

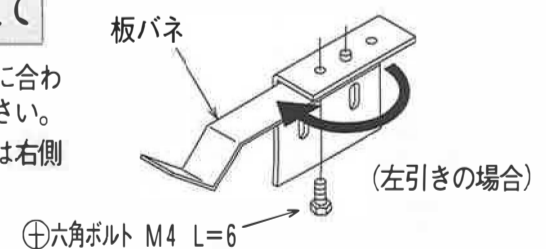
表3 取付ピッチGの簡易表

有効開口 (mm)	取付ピッチG (mm)
700	48.2
800	49.3
900	50.5
1000	51.7
1100	52.8
1200	54.0
1300	55.2

表3は有効開口100mm毎の簡易表です。正確な寸法はその都度計算してください。

13 全開停止装置の組み立て

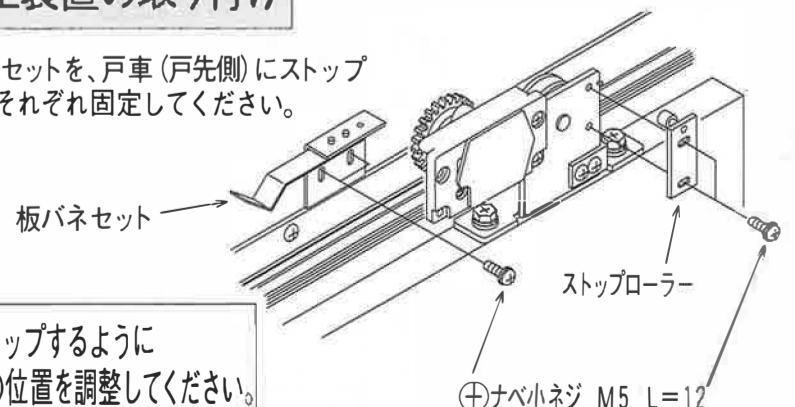
- (1) 板バネセットの板バネを勝手方向の向きに合わせて、六角ボルト2本固定してください。
- (2) 左引きの場合は左側、右引きの場合は右側にセットしてください。



14 全開停止装置の取り付け

- (1) 枠に板バネセットを、戸車 (戸先側) にストップローラーをそれぞれ固定してください。

扉が全開位置でストップするようにストップローラーの位置を調整してください。



完了

